

## 「木は地球を救う」— 6

細田木材工業(株)

相談役 細田 安治

JIDA((公社)日本インダストリアルデザイナー協会)主催の「木育デザインフォーラム」のセミナーに参加した。

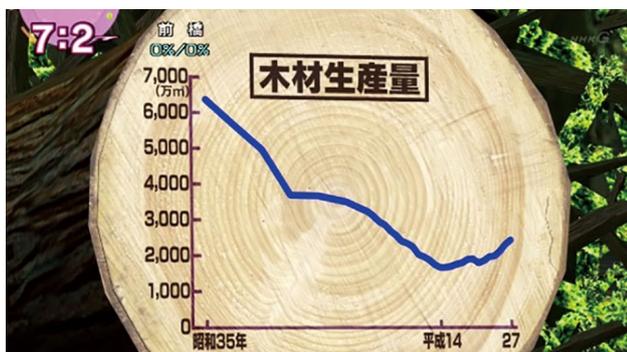
1. パネラーは東京大学名誉教授／木材・合板博物館 館長安藤直人氏
2. オリジナル家具作りで地方創生を目指す(株)ワイス・ワイス代表取締役社長佐藤岳利氏
3. 木材をこよなく愛するパワープレイス(株)のデザインシニアディレクター若杉浩一氏がそれぞれの立場から木材の魅力や良さを背景に「心地よいデザインから生活の未来を考えよう」と熱い思いを語った。以下要旨と筆者の考えを補足、レポートします。読者の皆様のご参考になれば幸いです。

□安藤先生

木を知り使い活かし森と生きる

◇森を育てる

世界は国際化の競争が激化するなか、エコノミーとエコロジーとの両立が問われている。経済的にも採算がとれる事が大前提であるのは当然のことである。山にある樹の資源の育成と、伐採して樹から、木になって利用に関する技術が進歩し、高度利用活用が進められている。国内では、地域の樹はその地域で木として使う。所謂地産、地消も進んでいるが、更なる活用を目指して、地域、地元を乗り越え、日本の木として海外への輸出も国の予算がつき軌道に乗り平成27年には年間70万m<sup>3</sup>の実績をあげている。



NHK資料より参照

◇木育デザイン

平成16年度から木育について、知育、徳育、体育の三つの側面から、子供に木の大切さを教えることからスタートしている。

## ◇木づかい運動

国民全体に広げていく。平成29年には補正予算を輸出に適用した。

平成30年度には、木の文化の情報発信の予算がつく。木によるおもてなしなど

伝統的技術から、木の明日のデザインを生み出す。外国人を呼び込み木の文化を広げる。

おもてなし⇒木を使い、気づかい⇒おもてなし、おしほりを出すことがおもてなしの道具。裏も表もなくおもてなしする。木の使い方など思い切って常識破りの使い方を考えた。安藤理論は、丸太を板目木取りから、柾目に挽き、狂いをとるという奇想天外の理論だ。先生は「木の性質を知って狂いをかわす」とおっしゃるが？普通は丸太から、平柾目に製材、柾目を見付けに、見込み幅を小割する。先生は発想を逆転し、板目盤取りから、柾目に挽き狂いを逃がすという？この使い方は面白い発想で我々「木材屋」には思いつかない素晴らしい発想です。

## ◇木で何が出来るかを考えよう

「地球環境を守るには木を使おう」は景気が良い時だけ、悪くなると言わなくなる。現状は大企業中心に景気は良いといわれている。今こそ、「木を使って地球を守ろう」と声を大にして言うべき時だ。木材の輸出の目標は250億円が270億円を達成した。景気が良いときは「環境問題」と言うが、悪くなると「環境問題」は置き去りにされることが残念だ。

高度成長時代にはおおよそ1億㎡の需要があったが、今では約7千万㎡で約30%落ち込んでいる。住宅着工戸数も150万戸時代から今は70%弱の90万戸台に落ち込んでいる。木材の需要は住宅着工戸数に左右されているのは周知の通りだ。そこで、余った3割は輸出に回そう。で始まった木材輸出である。日本の木材が海外には評判が良く、韓国、中国で、日本の木材の良さが認められた。これからも増加することが予想される。(筆責：細田安治)

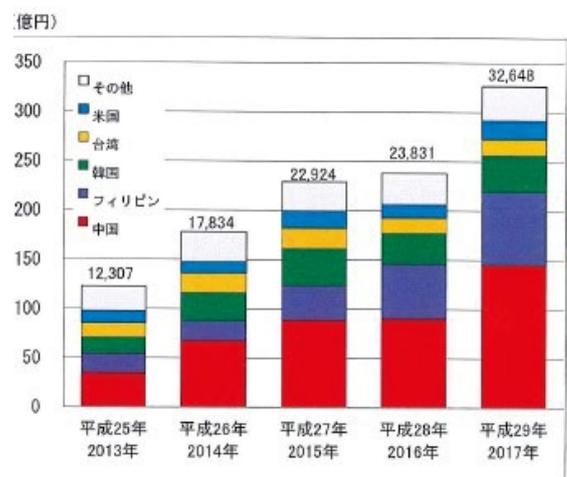
こんななかで、安藤先生は木材の輸出総額が約10%増えたと強調された。

## ◇異なる木を異なる業界へ

・針葉樹は従来通り杉、桧、唐松はユーザーの真に求めるものを開発する。

・広葉樹は開発できる宝の山だ。特に注目は、広葉樹の、センダン、チンチャン、ユリの木などがよい。使いこなす技術、好ましい、香ばしい特徴を見つけ出せ。

1. まずサシミは真壁用の、柱、造作、次は大壁用の材、野物、根っ子は薬に、最後は燃料用
2. 合板用は最後まで剥ける特殊ロータリー
3. ここまで使わないと、ゆがみが出る
4. 広葉樹は未知の世界開発余地十分あり奮起を望む



木材輸出額の推移 (国別)

#### ◇木の重さの約半分は炭素量

木は、異方性の曲りなどで、慣れないと扱い難いが、木をよく知れば素晴らしい材料だ。

木は磨き込めばピカピカになり自動車の塗装し研磨したように光る。大分県には木造のガソリンスタンドが営業している。木は正しく使えば安全、安心できる素晴らしい材料だ。山にある木を使って人を繋ぐ、それがデザイン、木の素晴らしさを未来へ伝えよう。 木育デザインフォーラムは続く

#### 【追記】

ここで日本木材青壮年団体連合会の今年のカレンダーは、1月に木を伐ってから、木を、「伐る、運ぶ、選る、挽く、乾す、学ぶ、刻む、組む、活かす、魅せる、住まう、植える」12月に木を植えるまでの「木の良さ」を紹介しています。今月号からレポートとは別に巻末に書き加えます。ご参考に供すれば幸いです。



全国初の挑戦、大分県日田市の木造のガソリンスタンド (GS)

出典：<http://qbiz.jp/image/box/>